

教科名〔 国語 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
現代文	2単位	2年 1～5組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近代以降のさまざまな文章に触れ、日本の言語文化を享受し、国語の力を育成する。 偏らない視点で主体的に物事をとらえることのできる判断力・人間性を養う。 事象をことばで論理的にとらえた文章に親しみ、思考力や判断力を高める。 文学作品を読む楽しさを知り、人生を豊かにする。 実用的文章について総合的に学習する。
使用教科書・副教材等	三省堂『新編現代文 改訂版』 尚文出版『国語必携ライトパーフェクト演習』 第一学習社『ニューエイジ現代文 stage1』 教科担当教諭作成のプリント教材

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1 学習活動の特記事項 2 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント				
						態度 関心・ 意欲	思考・ 判断	技能・ 表現	知識・ 理解	
第1学期	「最初のペンギン」(随想) 「コンコルドの誤り」(評論)	4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> 不確実な状況下で判断を下すことの必要性を知る 「不確実」というキーワードを頼りに、筆者の意見を文章中から正確に捉える。 身近な例を挙げながら、「コンコルドの誤り」とは何かを理解する。 接続詞に注意して、筆者の主張を的確にとらえる。 	『国語必携ライトパーフェクト演習』を使用し、適宜小テスト等を行う。(以下同じ)	第1学期 中間 考査					
	「ピクニックの準備」(小説) 「ピカソの力強い『線』」(評論)	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	<ul style="list-style-type: none"> 地の文の微細な違いで描き出される三人の登場人物と、彼らの抱える悩みや考えに注目して物語を鑑賞する。 指示語の示す内容を文章中から読み取る力をつける。 抽象的な文章を読解する力をつける。 		第1学期 期末 考査					
第2学期	「恐怖とは何か」(評論) 「涙の贈り物」(小説)	9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> 恐怖に関する身近な例から、筆者の考えに迫る。 例から結論を導き出すという論の展開を理解する。 性教育特別授業にあわせ、エイズ患者の内面を知る横断的な学習を試みる。 日本文学とは違う海外文学の表現や心理描写に触れる。 		第2学期 中間 考査					

	<p>「サッカーと資本主義」(評論)</p> <p>「海への距離」(詩)</p> <p>「未確認飛行物体」(詩)</p>	<p>10</p> <p>・</p> <p>11</p> <p>・</p> <p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国によって異なるスポーツの趣向から、資本主義のルーツを探る。 ・ 本文の内容をまとめ、説明する力をつける。 ・ 韻文の情緒を味わう。 ・ 詩に抱いた印象や感想を自分の言葉で的確に表現する力をつける。 						第2学期期末考査
第3学期	<p>「未来世代への責任」(評論)</p> <p>「愛を言う君(他11首)」(短歌)</p>	<p>1</p> <p>・</p> <p>2</p> <p>・</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代が抱える社会問題に注目し、意識的に考える態度を養う。 ・ 筆者特有の言葉について、その意味を把握する。 ・ 短歌のリズムを味わい、短歌の創作をする。 						学年末考査
<p>【1・2・3学期における課題・提出物等】</p> <p>授業中にとったノート。</p> <p>授業で使用したプリント。</p> <p>長期休暇中の宿題。</p> <p>その他折々の課題。</p>									
<p>【1・2・3学期における評価方法】</p> <p>定期考査 約70%</p> <p>平常点(出欠・提出物等) 約30%</p>									